

# 西洋と日本の

2023年度 長野県立美術館移動展 in 伊那文



小山敬三《盛夏風景》1953年



西郷孤月《月下飛鷺》1901年頃

10 28 SAT

# はぎままで

12 3 SUN

9:00 - 17:00 (入場は16:30まで) 月曜休館

入場料 | 一般500(400)円、大学生・75歳以上300(200)円、高校生以下又は18歳未満無料

※( )内は20名以上の団体料金 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添い1名は無料

問合せ先 | 長野県伊那文化会館 0265-73-8822 長野県立美術館 050-5542-8600 (ハローダイヤル)

※諸般の事情により、会期等に変更が生じる場合があります。最新情報はお問い合わせをいただくか、両館ホームページをご覧ください。

主催 | 長野県、長野県立美術館、長野県伊那文化会館 共催 | 長野県教育委員会、伊那市、伊那市教育委員会

長野県伊那文化会館 美術展示ホール 〒396-0026 長野県伊那市西町5776





中川紀元《散華》1962年



西郷孤月/菱田春草/横山大観  
《月夜山水》1901年頃



河野通勢《ハリストスに請う人々》1915年

長野県立美術館では、1966(昭和41)年の開館以来、郷土にゆかりのある美術家たちの作品と、美しい信州の自然を描いた風景画を中心に収集、公開してきました。これらのコレクションをより多くの方にご鑑賞いただくため、1979(昭和54)年から県内各地で「移動展」を開催しています。本館の新築オープンを迎えた2021(令和3)年からは、公募会場に加えて長野県伊那文化会館にて毎年開催することとなりました。



矢崎重信《まりつき》1937年



野田英夫《初冬》1932年(信濃デッサン館コレクション)

## 2023年度 長野県立美術館移動展 in 伊那文 西洋と日本のはざままで



松井康成《重層象裂瓷大壺「山かげの灯」》  
1981年

※すべて長野県立美術館蔵

本年は、県立美術館NAMコレクション展のうち、第III期の出品作を中心に展示します。開館以来、国内外でさまざまな情報に触れて、西洋の同時代美術に感化された近現代の作家たちは、やがて日本における自身の芸術を模索ようになります。本展では、河野通勢や小山敬三をはじめとして、南信出身の須山計一や中川紀元ら西洋と日本のはざままで新たな表現に取り組んだ作家たちの作品を紹介します。また、県立美術館企画展「とびたつきー池田満寿夫とデモクラートの作家」(9/9-11/5)にちなみ、ヴェネツィア・ビエンナーレでの大賞受賞後の池田満寿夫の軌跡を追います。併せて、菱田春草や横山大観と共に日本美術院を創設した、生誕150年を迎える松本出身の日本画家、西郷孤月を特集します。

### ギャラリートーク 参加無料/要観覧券

長野県立美術館学芸員が展示作品について解説を行います。

①10/28[土] ②11/11[土] 各14:00-14:30

●定員なし ●申し込み不要(上記日時に会場までお越し下さい)

※関連イベントについてのお問い合わせは、長野県立美術館(TEL.050-5542-8600:ハローダイヤル)まで。

長野県伊那文化会館 <https://inabun.jp/>

〒396-0026 伊那市西町5776(春日公園内) TEL.0265-73-8822

■車をご利用の場合 中央自動車道「伊那IC」から約15分/「小黒川スマートIC」から約5分

■公共交通機関をご利用の場合 JR「伊那市駅」から徒歩約20分  
乗り合いバス「市内西循環線」で「伊那文化会館」下車※土・日・祝祭日は運休



長野県立美術館企画展情報

とびたつきー池田満寿夫とデモクラートの作家  
9月9日[土]-11月5日[日]

庵野秀明展

11月25日[土]-2024年2月18日[日]

長野県立美術館移動展情報

開拓の記憶 南牧村でたどる信州の原風景 10月21日[土]-11月3日[金・祝] 南牧村美術民俗資料館

※各展覧会の詳細および休館日は、各会場のホームページをご確認ください。